藤本　岳

高６５期

高校教諭

頑張れ！！「登美丘ブランド」

「適当」な教師になりたい。そんな夢を抱かせてくれた登美丘高校。
現在僕は、大学を卒業して 2 年目の社会人であり、高校の体育教師をしています。僕は高校生の時、当時の先生方にとってかなり厄介な生徒だったと思います。学校が好きすぎるあまり、朝早く登校しすぎて職員室には教頭先生しか出勤していなかったり、定期テストでいい点数をとって評定をよくしたいがために、帰ろうとする先生を門で見つけては全力で引き止め完全下校の時間まで勉強を教えてもらうこともありました。また、当時僕が元気すぎるあまり友達のズボンを奪って廊下で逃げ回っていたところ先生に見つかり、大説教されたこともあります。そんな濃い時間を過ごしてきた高校生の僕でしたが、当時の僕は 2 年生の後半までお笑い芸人とかテレビの有名人になれたらいいかなと漠然と思い、テキトーに日々を過ごしていました。

しかし、2 年生の終盤に自分の進路について真剣に考えたとき、本当にやりたいことは芸人でもなく、有名人でもなく、「教師」であると気づきました。こんな厄介だった僕に真剣に勉強を教えてくれ、時には怒ってくれ、さらには、面談時にテキトーに答えた「お笑い芸人になりたい」という言葉を信じ、文化祭や体育祭で人前に出て活躍の場を与えてくださった先生方が僕には輝いて見えました。そんな尊敬できる先生がたくさん僕の周りにいますが、その中でも僕は 2 年生の時担任だった先生に憧れを持っています。その先生はよく「適当」という言葉を使っていました。最初は物事を雑にするという「テキトー」という意味だと僕は思っていました。しかし、その先生には「テキトー」なところはなく、いつも生徒のことを一番に考え、味方でいてくれました。その先生が言う「適当」とは、「適して当然」という意味で、教師が生徒を一番に考え、味方でいることは当然だということでした。僕はそんな想いを知り、教師になることを決断しました。実際に大学へ進み、教師になるための大変さを身をもって感じ、本当に教師になれるのか不安がありました。しかし、一度だって教師の夢をあきらめたことはありません。それは、高校生の僕に周りの先生が厚く関わってくれ、僕にすばらしい夢を与えてくれたからです。

在校生の皆さん、登美丘高校の先生はすばらしい先生がいっぱいいます。結果として僕は教師になる夢を見つけましたが、もし何か気になることができたらまず信頼できる先生に相談してみましょう。きっと、最後まで信じて常に味方でいてくれるはずです。最後になりますが、今後の皆さんのご活躍を心より願っています！！
100 周年、本当におめでとうございます！！

■プロフィール

2017 年 3月　登美丘高校卒業

2021 年 3月　大阪体育大学　教育学部　卒業

2022 年 4月　佐野工科高等学校　定時制で勤務